

# 短パン★カーニバル

脚本 遠藤雄史

## 【登場人物】

- ★リョウマ（男子生徒）／シズク（女子生徒）／三田（女性保健教諭）
- ★シヨウタ（男子生徒）／スズカ（女子生徒）／近江（男性教諭）
- ★アキラ（男子生徒）／ココネ（女子生徒）／神田（男性教諭）
- ★ユウ（女子生徒）／松岡（女性教諭）
- ★カズキ（男子生徒）／坂下（用務員）
- ★ソウイチ（男子生徒）／師岡（校長）
- ★サクラ（女子生徒）／安倍（副校長）
- ★川島（男子のマドンナ先生）
- ★サリナ（女子生徒）

舞台上に学ラン姿に短パンの男子たちが立っている。  
中央のアキラは旗を持って仁王立ち。

アキラ（割れんばかりの雄叫び）  
皆 短パン 短パン 短パン 短パン 短パン 短パン

男子生徒は「短パン」を連呼しながら激しく動き回る。

ショウタ 僕たちは！

男子生徒たちは一斉に立ち止まる

ショウタ 常軌を逸していたのだろうか？

男子生徒たち 体育祭前日！ 十六時五十五分！ 体育館倉庫！

ショウタ 僕たちの決意は固かった！

男子生徒たち 確固たる決意！

ショウタ どんな犠牲を払おうと僕たちには全うする使命があった！

男子生徒たち 短パン 短パン 短パン（連呼）

男子生徒たちはまた激しく動き始める。

ショウタは手を叩き男子生徒の注目を集める

ショウタ 僕たちのマドンナ先生に短パンをはかせる！

男子生徒たち（大きな歓声）

ショウタ マドンナに！

男子生徒たち マドンナに！

ショウタ 短パン！

男子生徒たち 短パン！

ショウタ はかせる！

男子生徒たち はかせる！

ショウタ マドンナ短パン！

男子生徒たち 短パンマドンナ マドンナ短パン 短パンマドンナ マドンナ

短パン！

そこに教員の川島（マドンナ）がパンツスーツで現れる。

川島 ショウタ君。

ショウタ はい！

男子生徒たち はい！

川島 明日だね。  
シヨウタ 先生！  
男子生徒たち 先生！  
川島 なに？

シヨウタは照れて、川島に背中を向ける。  
他の男子生徒たちがシヨウタを川島の方を向かせる。

川島 どうしたの？

男子生徒たち シヨウタ！ 男だろ！ シヨウタ！

シヨウタ 俺：俺たち

川島 うん。

シヨウタ 勝つから：

川島 え？

シヨウタ 川島ちゃんのために体育祭勝つから。

川島 (くすつと笑い) 先生に「ちゃん」つけないの。

男子生徒たち 「ちゃん」つけないの。

シヨウタ | ああ：

川島 期待してるぞ。

男子生徒たち : うおおおおおおお！

男子生徒たちは歓声をあげながら、シヨウタを叩いている。

川島は消える。

シヨウタ マドンナ！

男子生徒たち マドンナ！

シヨウタ マドンナ！

男子生徒の何名かが女子生徒(シズク、サリナ、サクラ)になっている

シズク ちよー

ユウ ちよー

サクラ ちよー

三人 ちよー！ その男子！

男子生徒たち・・・

シズク あたしたちのー

ユウ 川島ちゃんをー

サクラ やらしい目でー

三人 見ないでよね！

シズク つかー

ユウ　つかー  
サクラ　つかー  
三人　キモイつうの！  
男子生徒たち　・・・。

シズク　つかー

ユウ　つかー

サクラ　つかー

シズク　変なー

ユウ　ビデオー

サクラ　見過ぎでー

シズク　変なー

ユウ　妄想ー

サクラ　してんなー

シズク　つうの！

二人　つうの！

三人　つうの！

シヨウタ　黙らっしゃい！　この小むすめえー

男子生徒たち　ーどもめが！

三人　はぁあん？

シヨウタ　貴様らにはー

男子生徒たち　ー分からのだ！

シヨウタ　あの長ズボンの下に隠れされているー

男子生徒たち　ー大人の色香に！

三人　（呆然）

シヨウタ　見たいな〜

男子生徒たち　太もも

シヨウタ　見たいな〜

男子生徒たち　太もも

男たち全員　：触りたいなあ〜

三人　ーちよ〜いっ！

シヨウタ　黙れと言ってー

男子生徒たち　おろうがあ！　この小娘どもおおお！

三人　ひいひいっ！

シヨウタ　いいか！　俺たちはどんな犠牲を払おうとー

男子生徒たち　（騎馬を組みながら）マドンナ川島ちゃんに短パンをはかせる！

体育祭で短パンをはかせる！　いつもパンツスーツ姿の川島ちゃんの太も

もを見る！

シヨウタ　（騎馬に乗り）そして！

男子生徒たち　クラス対抗騎馬戦で短パンを纏った川島ちゃんを乗せるううう  
うう！

ショウタ 短パンマドンナ マドンナ短パン—  
男子生徒たち 短パンマドンナ マドンナ短パン 短パンマドンナ マドンナ  
短パン

ショウタ (笛を鳴らす)

男子生徒たち (止まる)

ショウタ 行くぞおおお！ 者どもく！

男子生徒たち (雄叫び)

三人 待ちな！

男子たち (三人を見る)

三人 あたしたちだって履いてるよ—短パン！

男子たち ！

三人 履いているよ—短パン！

男子たち (ひそひそ)

三人 なによお！

ショウタ 貴様ら小娘にいくら太ももがあるうと—貴様ら小娘がいくら短パン

をはこうと—あえて言おう！

男子生徒たち カスである！

シズク か？

ユウ か？

サクラ か？

三人 カスだああああ？

三人は怒りで体が震えている。

ショウタ 明日の体育祭、足引っ張んじゃねえぞ。

男子生徒たち (高笑い)

ショウタ 者ども、明日は祭りじゃ！

男子生徒たち ワッショイ♪ ワッショイ♪ ワッショイ♪ ワッショイ♪

男子の騎馬は消える。

女子生徒が増えている

シズク あたしたちの結束は固かった

ユウ 女同士の友情

シズク どんな姑息な手段を使おうと

ユウ あたしたちには守るべき人がいた

全員 あたしたちのマドンナの純潔を守る！

シズク 短パンなんか履かせない！

ユウ 履かせない！

全員 絶対に！ 絶対に！

シズク いつもパンツスーツ姿のマドンナは――

ユウ 体育祭だってパンツスーツだ

シズク 見てろ、あの馬鹿ども

ユウ 思い知らせてやる

女子生徒たち 若さは何ものにも代えがたいということをして！

シズク いいか！？ これはプライドをかけた戦いである！ 負けられない戦

いである！ これは祭りではない！ 戦いである！ 繰り返す！ これは

祭りではない！ 戦いである！

女子生徒たち (雄叫び)

暗転。

【体育祭当日 午前八時四十五分 開会式】

指令台の上には校長師岡校長が立っている。

その横には教師たちが立っている。

安倍 お校長先生のお話。静かに聞かざるまっす！

師岡 (礼をする)生徒諸君、グウウウウウツモーニンツ！ 晴れ渡る空！ 学

業に邁進している諸君らではありませんがっ、文武両道！ いかんのでありま

す、学業だけでは！ 社会に出ると学校で学んだ知識ではなく、ものを言う

のは体力！！

神田 それをあんたが言っちゃだめだろうよ。

近江 聞こえますよ。

神田 聞こえねえつつうの。

近江 地獄耳っすよ。

神田 だから民間あがりはよっ。

近江 神田先生！

神田 けっ！

三田 松岡先生さ。

松岡 なに？

三田 それ(足)、出し過ぎじゃない？

松岡 そう？

三田 あそこら辺の男子、ずっと見てるけど。

松岡 (ちよつと姿勢かえる)

三田 鼻の穴、膨らんだね。

松岡 素直だよ、あの子たち。

三田 素直というより本能のおもむくままか。

松岡 うち男クラじゃん。これぐらいサービスした方が、燃え上がる。

三田 炎上の間違いじゃね？ この前みたいな尻拭い、勘弁だかね。

松岡 あれ、助かった。

三田 あたしの催眠術にかかれれば、お手の物よ。――大変なんだからね。

松岡 合コンに呼んだでしょ。

三田 あれ、ありがとね！  
松岡 川島ちゃん、今度合コン来る？  
川島 え？  
松岡 高校教師って意外に人気あるよ。  
三田 あたしの取り分なくなる！  
川島 私は…  
三田 つか、今日もスーツ？  
川島 あ…これは…  
三田 サッカーの監督か！？  
川島 そういうわけじゃなくて…  
三田 アギール？ アギール？ アギール？  
松岡 走る気ないってことでしょ？  
川島 いえ…  
松岡 あたしもパス。  
三田 あたしだって嫌だよ。  
神田 俺もパス。  
近江 僕だって嫌ですよ。  
四人 (ため息)

【体育祭前日 職員室】

安倍 お準備に関わって！ 先生方からあるぞますかっ！？  
先生たち ……。  
安倍 ないぞますっか！？  
先生たち ……。  
安倍 ないぞますっね！ ―お校長先生！  
師岡 いやいよ明日となりました、体育祭。―お伝えしておきたい、先生方に！  
校長の私から！ 何を伝えたいと思いますか、私は？ 近江先生！  
近江 え…？  
師岡 近江先生！  
近江 はい…

近江は立ち上がる。  
師岡は近江にもものすごく近づく。

近江 近いです…。  
師岡 アンサー。  
近江 え…生徒たちの自主性を伸ばす…？  
師岡 三田先生！  
三田 え…

三田は立ち上がる。  
師岡はものすごく近づく

三田 あの一  
師岡 はい？  
三田 近い…  
師岡 アンサー  
三田 協調性…？  
師岡 神田先生！  
神田 はい…

神田は立ち上がる。  
師岡は近づく。

師岡 ……  
神田 ? あの一  
師岡 ちよつと低く。  
神田 え？  
師岡 低く。  
神田 はあ。(身を屈める)  
師岡 グッド。  
神田 ……近いです…  
師岡 アンサー  
神田 団結力…？  
師岡 (神田と鼻が触れ合う程近いところで頭を振る)  
神田 当たってます…  
師岡 (神田の頭をむんずと掴む)  
神田 ちよっ—  
師岡 失望しました、皆さん！ 落胆です、心底！

師岡は神田を投げ飛ばす。  
吹っ飛ばす神田。

近江 (同時に) 神田先生！  
三田 (同時に) ちよつと！  
川島 (同時に) キャー！  
神田 |てめえ！  
松岡 神田！  
神田 ……。



松岡 (師岡の前に立ち) すんません。うちらバカなんで分かりやすく教えてもらえませんか？

安倍 なんざますつか！ そのお態度！

師岡 副校長先生。

安倍 お校長先生！

師岡 (しやがみ、松岡の太ももを凝視)

松岡 おさわりはオプシオンですから。

師岡 ハウマツチ？

松岡 あんたは給料半年分。

師岡 ふー。(立ち上がり) ちなみに、考えは？ 松岡先生の。

松岡 ガキどもが楽しめばいい。

師岡 自主性：協調性：団結：楽しみ：何の役にも立ちませんよ、実社会で。

むしろ、悪でしかない。これが現実ですか、日本の教育の。

松岡 だからさー

師岡 ビークワエツト！ 喋ってるんです、校長の私が！

安倍 そうでござまつす！ このお短パン！

師岡 副校長先生。

安倍 おでございました！

師岡 私は失望したんです。三年も勤めて、理解したんです。教師に対するなれなれしいため口。大した経験も実践もないくせに、不遜で傲慢な言動：自分たちが保護されていることに気づかない愚かな脳みそ。貴方たち教師の責任です。自主性、協調性などと聞こえの良い言葉で全ての人格を受容しようとする貴方たちがニートや引きこもりを生み出す。自分探しといってモラトリアムであることを正当化させる。全て貴方たちの責任です。国際競争力の低下を招いている真の原因が学校教育にあることになぜ気づかないんですか！

静寂

近江 言ってることは分かりました。

神田 おい！

近江 落ち着いてください。ーそれで、この体育祭で僕たちにどうしろと？

師岡 簡単です。教えるんですよ、完全なる上下関係を。生徒は教師に逆らえない、地位が低い者は高い者に逆らってはいけない。完全なるイエスマン。社会が求めているのは一部の優秀な人材と物言わぬレイバー。うちのような特にとりえのない学校が教えることは、ただただ上の者に従う従順さオンリー。

三田 教師の権力振りかざせてことですよね？

師岡 イグザクトリー！

三田 今更じゃないっすか？

師岡 だから、この体育祭を利用するんです。教職員対生徒選抜リレー。私がこの校長に来てから勝ったところを見たことがあります。原始的な勝負こそが、優劣を決めるんですよ。勝ちなさい。どんな手を使っても。彼らに教師の力を思い知らせるのです。そこからスタートです。

三田 無理っしょ。

師岡 勝てない兵隊はいりません。

皆 ！？

師岡 言ったでしょ？ イエスマンしかこの世の中にいないと。それは、貴方たちにも当てはまるのですよ。

近江 それって？

師岡 聡明な近江先生なら分かるはずですよ。お任せしますよ、メンバーの選出は――

### 【体育祭 開会式】

師岡 生徒諸君！ 今年の教職員対生徒選抜リレーで校長である私は、君たち生徒諸君へ宣戦布告を行う！ 今年是我々が勝つ！ 必ず！

サリナ （袖から）勝てなかったらどうするんですかあ？

師岡 ！？

三田 誰？

松岡 分からない。

川島 まさか！

安倍 誰ぞますつか？ お校長先生のお話しお中に！？

師岡 副校長先生。

安倍 お出すぎました！

師岡 誰ですか？ 見せてほしい、顔を。

サリナが指令台の前に現れる。

サリナ あたしです。

川島 サリナさん！

三田 え？ だって不登校で学校に出てきてない子でしょ？

川島がサリナの方に行き

川島 （校長に）すみません！

サリナ 川島ちゃんは関係ないでしょ。

師岡 川島先生のクラスの子ですか。

サリナ 校長先生、勝てなかったらどうするんですかあ？

師岡 …

サリナ どうすんですかあ？

師岡 何が望みかな？ 君は？

サリナ つまんない学校なんかなくなればいいと思ってる。

一同 | 重い。

川島 | 重い！ サリナちゃん、久しぶりに来て、それは重いよ。今日は体育祭だよ、フェスティバルでカーニバルだよ。

サリナ 川島ちゃんこそ、体育祭の恰好じゃないよ。

川島 ……これには…深いわけが…

師岡 いいだろう！ もしも君のチームが我々教師に勝ったら、願いを叶えよう！ 生徒諸君、自らが最強と思うチームで我々に挑んできたまえ！ 勝ったチームの願いを叶えよう！

大地が揺れるほどの雄叫び！

【男子の目線】

リヨウマ 校長の挑発的とも思える宣戦布告により、校庭のボルテージが一気に加速した。師岡校長。民間人の校長公募によって、三年前に校長として赴任。若くて快活、親しみやすさを演じている一方、民間あがりからなのか極端すぎる思想を押し付け気味だった。それでも、それがユーモアなのか本気なのか分からないぎりぎりのラインを保っていた気がしていたが、ここにきてなぜ、あんなことを言いだしたのか…一度も顔を見せてないサリナが現れたことも嫌な予感を助長させる。

シヨウタ リヨウマ！

リヨウマ シヨウタ君。

シヨウタ 聞いたか、今の。

リヨウマ ああ。―君はどう思う？

シヨウタ チャンスだな。

リヨウマ チャンス？

シヨウタ マドンナに短パン履かせるチャンスだろ。

リヨウマ ん？ ん？

シヨウタ なあ、アキラ！

アキラ 短パンマドンナだ。

リヨウマ ちよっと待って！

シヨウタ・アキラ なに？

リヨウマ 結構、重苦しい雰囲気あったよ。

シヨウタ 重い？

アキラ 苦しい？

シヨウタ・アキラ どこが？

リヨウマ いやいやいや！ 聞いてた？ なんか、教師対生徒だあ！ わあ！ 学校なくなれえ！ わあ！ ……わあわあって！

ショウタ おうおう！ わあわあってなあ！  
アキラ おく、わあわあってなあ！

ショウタ 短パン短パンってな！  
アキラ 短パン短ぱんってな！

ショウタ 太もも太ももってな！  
アキラ 太もも太ももってな！

リヨウマ 言っただけ。

ショウタ 見てえべえ！

アキラ なんだよお！

ショウタ 見てえべえ！

アキラ なんだよお！

ショウタ 川島ちゃんの太もも、見てえべえ！

アキラ ；見てえ；ショウちゃん、川島ちゃんの太もも；見てえ；

リヨウマ 落ち着いて！

ショウタ うっせえ！ むつつり！

リヨウマ ひいっ！？

ショウタ むつつりの介；おめえだって川島ちゃんの太もも見てえべ？

リヨウマ ；それは見てみたいよ；

ショウタ ウブい、むつつりの介はウブのよお。

アキラ 昔のあつしらを見ているようでござんす。

リヨウマ 一緒にしないでほしいー

ショウタ 沈黙考！

リヨウマ ひいっ！

アキラ (気を付け)

ショウタ 全ての成功はイメージによって形作られる！

アキラ うっす！

ショウタ 想像しろ！

アキラ 想像；

ショウタ 川島ちゃんを想像しろお

アキラ 川島ちゃん；

ショウタ きたか？

アキラ ；あ；お；お？ ；う；え；い；い；ダメだあ！

ショウタ ありおりはべりいまそかり！

アキラ ショウちゃん？

ショウタ お前それでも男かよお！ 俺たちは想像してなんぼだろ！

衝撃音！

アキラ 男だ；

リヨウマ バカだ；

シヨウタ お前らに見せてやるよ：激しい訓練の末、手に入れた俺のイメージ力を！ ふ〜！ （その場で軽いフットワーク） エンドルフィン分泌！  
分泌音。

シヨウタ ふあああああ！ シャツキーン！（そして、フットワーク）  
アキラ エンドルフィン！？ リヨウマ！  
リヨウマ エンドルフィン：脳内麻薬：マラソンなどで長時間走り続けると気分が高揚してくる作用「ランナーズハイ」もエンドルフィンの分泌によるものとされている。わずが十七歳でエンドルフィンを操る術を：どれだけ妄想してんだ：  
シヨウタ 俺のイメージ力は半端ねえ！ お前らにも見える具現化力だ！（ファイティングポーズ）出るぞ！

イメージ川島が具現化し始める

川島（イメージ） シヨウタ君、好き♥  
リヨウマ・アキラ きたああああ！？  
シヨウタ カマ〜ン！  
リヨウマ 藤原翔太十七歳。帰宅部。好きなタイプ、年上。妄想と現実の狭間の住人。  
アキラ シヨウちゃん：男だよお！  
リヨウマ 遠藤彰（エンドウアキラ）十八歳。帰宅部。好きな妖怪、ぬり壁。属性、バカ。―その頃、女子たちは！

### 【女子の目線】

川島がサリナを探している。

シズク 川島ちゃん！

シズクとココネ、スズカが川島のところへ来る。

川島 シズクちゃん。ココネちゃん、スズカちゃん。―サリナちゃん、見なかった？

シズク サリナ？

ココネ 知らなくい。

スズカ 見てなくい。

川島 そう…。（サリナを見つけ）サリナちゃん！

サリナが出てくる。

サリナ (無視して行こうとする)  
川島 待つて待つて!

川島がサリナを捕まえる。

サリナ !? ウラララ! (川島にモンゴリアンチョップ!)

川島 (驚きの声) !?

シズク 川島ちゃん!?

サリナ 気安く触らないで。

川島 (痛い) サリナちゃん?

サリナ この世はデイストピア。

川島 なに?

サリナ 全てをリセットしてユートピアにかえる。そう、私は変革者。――川島ちゃん: 残念ではあるが、敵同士。馴れ合いはできぬ:――さらば!

サリナが行こうとする。

川島 サリナちゃん!

サリナ しよせんこの世は夢かふつつかか: 不束者か:

川島 !? サリナちゃん!

サリナ それならあたしは不束者を選ぶ:

川島 聞いて!

サリナ 川島ちゃん、ごめんね。

川島 不束じゃない!

サリナ あたしのこととはあたしが一番よく知っている! あたしは不束者なの

さ:

川島 ちがう! 「夢かうつつか」!

サリナ ん?

川島 夢か不束者かじゃなくて、夢かうつつか!

サリナ う? う? う? う、うつつかっつなによ!

川島 うつつは現実って意味!

サリナ う:う:う:うくらら!

サリナはまたモンゴリアンチョップ!

川島 (驚きの声)

川島は倒れる。

サリナ だから、あんたたち大人は：大人わああああ！

サリナはダッシュで逃げ去る。

川島 サリナちゃん！

シズク 川島ちゃん、ここは私に任せて！

川島 シズクちゃん？

シズク 鎖骨にヒビ入ってるかもしれない。

川島 え？ 大丈夫だ！

シズク (川島の鎖骨を) ガン！

川島 うっ！ シズクちゃん：何を？

シズク ココネ！ スズカ！

ココネ・スズカ はっ！

シズク 川島ちゃんを保健室へ。

川島 ちょっと待って：

シズク 川島ちゃん、サリナは私に任せて。 | さあ。

ココネ・スズカ はっ！

川島 シズクちゃん！

ココネ・スズカ (川島を連れて) エッホ エッホ エッホ エッホ

川島 シズクちゃん！

ココネ・スズカ・川島は消える

シズク ごめんね：これは私たちの戦いなんだ：

サリナが逃げている。

サリナの進行方向に人垣が現れる。

サリナ どきなどきな！ 不束者のお通りでい！

シズク (大きく息を吸い) サリナ！

サリナ シズク？ | 群れるのは好きじゃないんだよ。

サリナがまたダッシュで逃げる。

シズク 知ってるよ。あんまり使いたくないんだけど：(大きく息を吸い、超音波を発する)

サリナ ！？

人垣1 何この音！？

人垣2 耳が！？

人垣3 痛い：  
サリナ ちよっと？  
人垣4 聞こえないのか？  
サリナ なにが？  
人垣5 頭が割れそうだ！  
人垣6 ここにいられない！  
サリナ これはモスキート音？  
人垣 頭が割れるううう！

人垣たちは消える。  
シズクが降り立ち、サリナに一歩一歩近づく。

シズク サリナ、手を煩わせないで。  
サリナ シズク：  
シズク 話をしようと言ってるの。  
サリナ 工藤雫、十七歳。地獄のゴディバ。  
シズク デイバ。ゴディバはチョコ。  
サリナ 地獄のデイバ。  
シズク 片岡紗理奈四十二歳。  
サリナ 年齢は言わないで！  
シズク 遅咲きのルーキー。  
サリナ 私にモスキート音は効かない：というか聞こえない。  
シズク 知ってる。  
サリナ それで、私に何の用？  
シズク 手を組みましょう。  
サリナ 手を？  
シズク 騎馬リレー、独りで出る気？  
サリナ ・・・。  
ユウ 見たことないから仕方ないんじゃない？

ユウが現れる。

シズク それもそうか。  
サリナ ユウ：  
ユウ 久しぶりじゃん。  
サリナ 立花悠（タチバナユウ）十八歳。ソニックスマッシュヤー。男子と付き合っては別れ付き合っては別れ：その数、三桁を超えというグラップラー。  
ユウ 入学式以来？  
サリナ 思ってた以上に居場所がなくてね。  
ユウ 啖呵切ったはいいけど、どうする気？



サリナ 努力と根性。

シズク それだけじゃ無理なんだって。

サリナ なんて？ 四十二だから？

ユウ そうじゃなくて、独りじゃ出られない。

サリナ ……（驚愕！）

ユウ （サリナにびっくり）なに！？

サリナ え？ え？ ええ！？ あた、あた、あた、あた、あたしどうすれば

いいのお！？

シズク ええ！？ だから、手を組もうと言ってるの！

サリナ ……それでいいの？

ユウ うん。

サリナ ……。

サリナが二人から離れる。

サリナ 馴れ合いはしない。

ユウ （鼻で笑って）別にいいけど。

シズク うちら目的は違うけど、目指すところは同じだから。

サリナ ふくん。ちなみに、どんな目的？

シズク え？ それは、ねえ。

ユウ んだ。

サリナ ……わかんない。

シズク なんつうの—

ユウ クラスのバカ男子共が—

シズク 川島ちゃんを短パンにするんだって—

ユウ バカ騒ぎすつから—

シズク わあ—って—

ユウ そう、わあ—って—

シズク 川島ちゃんを守らなきゃって

ユウ そうそう。守らなきゃ。

シズク・ユウ ……ねえ！

サリナ ふくん。

そこにソウイチがやってくる

ソウイチ シズク！ ユウ！

シズク・ユウ ♥！？ ♥ソウイチ君♥！

ソウイチ あ、サリナさんも。お久しぶりです。 —生きてたんですね。

サリナ 真顔で毒吐くのやめて。  
ソウイチ すみません。

シズク　そ、ソウイチ君：なに？  
ソウイチ　あ、ショウタ君たち見なかった？  
シズク　え？　ショウタ君？　みた？  
ユウ　ん？　見てない。―ごめんなさい。  
ソウイチ　そうかあ。―いいよいいよ。　それじゃ。

ソウイチが行こうとする。

シズク　ソウイチ君！

ソウイチ　なに？

シズク　あのさ：

ソウイチ　ん？

シズク　ソウイチ君も：

ソウイチ　うん。

シズク　その：（ユウに）ちよつと言えないよお！

ユウ　シズクが聞いてよお！

ソウイチ　どうしたの？

シズク　うん。―聞くね。

ソウイチ　はい。

ユウ　（がんばって）

シズク　（大丈夫―深呼吸）　ソウイチ君も：ソウイチ君にかぎってそんなことないと思うんだけど：川島ちゃんの短パン姿見たいの？　―ごめんなさ

い！　変なこと聞いてえ！　ユウ！

ユウ　だって、シズクが聞きたいって言ってたじゃん！

シズク　ユウだって言ってたじゃん！

ユウ　わたしのせいにしないでよお！

サリナ　（いろいろと察して―うんうん）

シズク　それで、どうなの？

ソウイチ　―見たいよ。

シズク・ユウ　え？

ソウイチ　というか、触ってみたい。

シズク・ユウ　ん？

ソウイチ　え？　目の前に太ももあつたら触るでしょ？

シズク・ユウ　・・・。

シズクとユウは無言で足を前に。

ソウイチ　それじゃ。

ソウイチが行ってしまふ。

シズク・ユウ・・・。

シズクとユウは肩を震わせる。

サリナ・・・。

シズクとユウの太ももを触ってあげる。

サリナ ドンマイ。―そんなもんだから、十代の男なんて。逆に四十代、いいよ。十代の女子はなんでも可愛いつて言う―

シズク AS SON AS! なになにするやいなにやあ!

サリナ (びっくり)―なに?

シズク 復讐するは我にあり!

ユウ あんな年増のどこがいいんじゃない!

シズク なく!

ユウ なく! ただ、若ぶってるだけじゃん!

シズク ホントに!

ユウ ホントに!

シズク マジないわ!

ユウ マジない!

シズク これ! これ! これ太もも!

ユウ 目の前に太もも!

シズク ぴちぴち太もも!

ユウ これより年増の太ももがいいって―

シズク・ユウ マジないわ!

サリナ 川島ちゃんを守るといふより、川島ちゃんを短パンにさせないといふのが本当の目的。

シズク それだけじゃだめよ

ユウ あたしたちの弾ける太ももで

シズク ソウイチ君を

ユウ ものに

シズク・ユウ したい!

サリナ え? 二人でモノにするとこのは:

シズク シェアする。

ユウ ねえ!

シズク ねえ!

サリナ あ: そうなんだ。

そこにショウタと妄想川島が手をつないで現れる。

川島 ショウウタ君ったら〜。  
ショウウタ 川島ちゃん、絶対似合うって。  
シズク・ユウ・サリナ ・・・。  
ショウウタ | アキラ。  
アキラ (やってくる) ショウウちゃん、これ。

アキラ、ものすごい短パンを見せる。

シズク・ユウ・サリナ ・・・。

ショウウタ アキラ：

アキラ ちよつと短いかも知れないけどさ。

ショウウタ お前：男だなあ！

川島 え〜、恥ずかしいよ。

ショウウタ 川島ちゃん：脱いで。

川島 ショウウタ君：

ショウウタ おいおい、君付けやめろって言ったろ。

川島 だつてえええ。

ショウウタ ほら、言ってみろって。

シズク・ユウ・サリナ ・・・。

川島 うん：ショウウタ♥

ショウウタ カマ〜ン！

アキラ ショウウちゃんだけずるいよおおお！

ショウウタ うっせ！ うっせ！ うっせ！ お前も妄想で出せばいいだろ！

アキラ まだできないよおおお！ 貸してよおおお！

ショウウタ うっせ！ うっせ！ うっせ！ 見てるだけええ！ お前、見てる

だけえええ！

アキラ えええ！？

ショウウタ さあ、川島ちゃん。脱いで。

川島 うん：

シズクが川島の前につかつかと歩き―  
ユウとサリナは耳をふさぐ

ショウウタ おー

シズク んちや〜〜〜〜〜！

シズクの「んちや砲」。

ものすごい衝撃音。

ショウタ・アキラ！？（思わず耳をふさぐ）  
川島 ショウタアアア

妄想川島ちゃんが消える。

アキラ （崩れ落ちる）か：か：川島ちゃああああ！  
シズク 消えろ、年増の腐女子。

ショウタ （崩れ落ちる）あ：あ：あ：あ：やっと呼び捨てしてくれたのに……。シズク！ 妄想するのになどれほどのカローリーいると思っただああ！？

シズク 知るか。二次元の世界でうづくまってる。  
ショウタ おま：おま：二次元じゃ温もりがないだろおおおが：

アキラ ショウちゃんは僕らの希望なんだ：  
ユウ キモイつつうの。

ショウタ ：キモイ？  
アキラ ショウちゃん、今キモイって言われた？  
ショウタ うんうんうんうん、なんか：言われたみたい：  
ユウ 何べんも言っつてやるか？ キモイ。

言葉の暴力。銃声が聞こえ、ショウタとアキラは撃たれる。

ユウ まじキモイ。

またも銃声。被弾するショウタとアキラ。そして倒れる。

ショウタ キモイって言うなああああ！

アキラ ショウちゃん：俺：俺：  
ショウタ アキラ！ しっかりしろ！

アキラ 寒い：寒いよ：  
ショウタ アキラアアア！

アキラ ショウちゃん：どこ居るの？ 目の前が暗い：  
ショウタ アキラ：アキラ：救護班！？ 救護班はどこに？

シズク・ユウ （冷たい目）  
ショウタ アキラア！

アキラ せめて：キモカワって：最後に可愛いって：  
ショウタ 頼むよ：アキラのために：キモカワって：言ってくれよ：

シズク （アキラの前に）  
ショウタ シズク：？

シズク アキラ：  
アキラ シズク：

シズク この極キモ野郎。

アキラ　ぐふっ！  
シズク　お前みたいなのがいるからソウイチ君が毒されるんだ。消えろ。（息を吸い）キモくくく！  
アキラ　あ！　あ！　あああああ！

アキラ　憤死。

シヨウタ　アキラ！  
シズク　いこ。陣地でなんかやるんでしょ？

ユウ　そうだね。

シヨウタ　待て！

シズク・ユウ　（止まる）

シヨウタ　：なんでお前ら女子は俺らをバカにすんだよ：

シズク　は？

ユウ　バカにしてないし。

シズク　ホントにこと言ってるだけだし。

シヨウタ　なんで平気な顔でキモイとか言うんだよ！　―マドンナは：川島ちゃん―絶対俺らにそんなこと言わねえんだよお！　わかっか！？　川島ちゃんは俺らのオアシスなんだよおお！　どんな話したって、絶対にひかない！　キモイなんて言わないんだよおおおお！

シズク　先生だからだろ。

シヨウタ　なに？

ユウ　仕事だから本音言わねえつううの。

シズク　心の中じゃ思ってたんだよ。

ユウ　うちら商売相手だから。

シズク　ビジネスライク的な。

シヨウタ　そんなわけねえよ！

シズク　ホント、男ってバカばっか。

シヨウタ　俺たちは騎馬戦リレーで勝って、これを川島ちゃんに履かせて、ウイニングランするんだよ。

シズク　あたしたちも出るから。

シヨウタ　出る？　何に？

シズク　騎馬戦リレー。

シヨウタ　各組1組だろ！？

シズク　校長が今年はおープンにするって。―そのサリナのおかげで。

サリナ　！　一応見えてた、私？　いや、私、透明人間になっちゃったって思ってた。

シヨウタ　なんで出るんだよ？

シズク　川島ちゃんに短パンを履かせないため。

シヨウタ　なんだと？　アキラ！

アキラ 聞いてた！ ショウちゃん！

ショウタ ああ！

シズク 正々堂々戦いましょう。

ユウ シズク。

シズク うん。

シズクとユウは消える。三人が残る。

アキラ ショウちゃん！

ショウタ 手ごわいな…作戦を考えるぞ！

アキラ うん！

ショウタとアキラも消える。サリナが残る。

サリナ かくして始まった体育祭。短パンを履かせる、履かせない。大人のプライドを見せる見せない。それぞれの思惑が交錯する体育祭。私の学校なんか無くなればいいという思いは、ちょっと重すぎるかもしれない…。あ、どうも、四十二の大竹紗理奈（オオタケサリナ）です。なぜ、四十二の私が普通高校に入り、なぜに私が学校なんか無くなればいいかと思ったかという  
とー

シズク サリナ！

サリナ あ、はい。

サリナはシズクの後を追う。

【体育祭 各組陣地】

生徒たちが各先生を囲んでいる。

松岡 いい！ あんたら松岡組の人間なら中途半端なまねすんじゃないよ！

生徒たち ウオオッス！

近江 競技に挑むということは、困難に挑むと同じことなんです。

生徒たち はい。

三田 けがしないように。お祭りなんだから。

生徒たち りようか〜い！

神田 いいかあ〜？ そこ聞いているかあ？ 今、先生話してるだろ？ だか

ら、聞けよ。

生徒たち はいはい。

川島 うん。取りあえず一生懸命だよ。

生徒たち はいっ！

松岡 あたしのクラスが負けるなんてありえないから。

生徒たち ウオオオッス！

近江 一事が万事という言葉知ってますね？

生徒たち はい！

三田 あ、クラスTシャツ、まだ払ってない人、早くね！

生徒たち はい。

神田 だから、それはさっき言ったろ。だから、話聞けっていったよ。

生徒たち はいはい。

川島 みんなのがんばってるどころ、応援するから！

生徒たち はいっ！

松岡 行くぞお、野郎ども！

近江 一番になりましょう！

三田 打ち上げはアルコールなしね。

神田 ああ、もう競技始まるよ！

川島 がんばろう！

生徒たち おおおおお！

生徒たちは消える。

松岡 とは言ったもののねえ。

近江 ホントですよ。

三田 誰出るの？

神田 なんて話きけないんだろうなあ

川島 どうしましょうか？

松岡 歳的にな川島ちゃんですよ。

川島 私ですか？

三田 でも、明らかにボイコットな恰好だかんね。

川島 これは：

神田 なあ！

近江 なんすか？

神田 うん。そうなんだよ！ 普通、こう話って聞いてくれるんだよ！

近江 はい？

神田 学級の生徒たち、話聞く？

近江 はい。―ねえ。

松岡 嫌われてるんじゃない？

神田 そんなことないよお！

松岡 いや、嫌われてる。

神田 やめろよお！

三田 出たら。

神田 |

三田 本気で考えている。

神田 考えてな：くもないけどなあ。



近江 マジすか？

神田 こうも言うこと聞かないとな：

近江 校長のこと一番、嫌っていたと思っただけだ。

神田 でえきれえだ！

近江 だったらー

神田 でもな、上下関係教えるってのは一理ある。

三田 神田先生さ、なんだか言って権力振りかざすの好きそうだもんね。

松岡 あ、分かる。ー高校生相手に挨拶かえさせそうとするとところとか。

神田 基本でしょ、あいさつ。ー（川島に）な！

川島 ーはい。

三田 ほら。

神田 なに？

三田 一番弱そうな川島ちゃんに同意を求めるところ。

神田 そういうわけじゃないよ。

近江 無意識が一番たちわるいっすよ。

神田 お、お、近江く！ お前、俺の味方だろ！

近江 ま、ま、ま、そうすけど。

神田 この前、缶コーヒーおごったろ！

松岡 せこい！

神田 せこくない！

三田 あの子たちだって、挨拶ぐらいするよ。

神田 してこないし！

三田 してくるっしょ？

松岡 主に男子だけど。

近江 しますね。

三田 川島ちゃんもされるでしょ。

川島 はい。

三田 川島ちゃんは人気だから。

川島 そんなこと：

三田 年、近いのもあるのかね。

松岡 それはある。ー友だち感覚の気軽さ、あるんじやー

神田 ダメだろ！

皆、静寂

神田 お前ら、間違ってるよ！ いいか！ 生徒と俺たちは友だちじゃない！

教え、教えられる関係！ それを師弟関係と申しますっ！ ♪ 仰げば尊し、

わが師の恩！ 教えの庭にもおお、はや幾年ええええええ！

近江 神田先生？

神田 人気があるからとかあ、みんなに慕われてるとかあ、そんなんでえ、挨拶

拶されるとかあ、話聞いてくれるとかあ、間違ってますからあ！ 俺、別に  
 人気がないとか思っていないしいい、思っていないしいい

三田 結局、そこでしょ！

神田 ペっ！ ペッ！ ペっ！

三田 ちよっとお！

神田 そこじゃないし！ そこじゃないし！ 俺、人気とか必要ないし！ 教

師が人気と言ったられないしい！

近江 分かります！ 分かります！ 落ち着いてください！

神田 | (近江を見る)

近江 神田先生？

神田 近江君さ、この前さ：

近江 なんすか？

神田 女子生徒から手紙貰ってたよね。

近江 ちよっと！

松岡 まじで？

近江 それ言わない約束でしょ！

神田 やっぱり言っちゃダメなことだったんだあ！

近江 そういうわけじゃっ！ ；ないっすよ！

三田 え？ だれだれ？

近江 え？ 誰だっというじゃないですか！

松岡 気になる。

近江 え：

松岡 (川島に) 気になるっしょ？

川島 けっこう。

三田 いいぞいいぞ、川島ちゃん！

松岡 だれ？

近江 ・・・

神田 バスケ部キャプテン。

近江 なんだあんたが言うんだよお！

三田 ええ！？ バスケ部顧問！

松岡 知らない知らない！

三田 あの子、ムチャかわいいじゃん！

松岡 短パンからはみ出す太もも、神レベル！

川島 近江先生：

近江 違う！ そういうのじゃない！

三田 アウトだ。

松岡 アウトだな。

近江 だから、違いますって！

神田 んじゃ、音読：ううん―朗読して。朗々と読んで。

近江 ；今、持っていないですし：

神田 近江君、俺ね、君、良い教師だなんて思ってるんです。  
近江 ……ありがとうございます！  
神田 君の日本史の授業、分かりやすいって生徒たち言ってるし。  
近江 ……ありがとうございます！  
神田 近江君さ、教員続けたいよね？  
近江 ……はい。  
神田 俺の味方だよ？  
三田 下衆い…  
松岡 だから嫌われてるんだっつうの。  
神田 だまらっしゃい！ 今、近江君にお話ししてるんです！  
近江 ……。  
神田 俺の味方だよ？  
近江 はい…  
神田 俺、騎馬戦リレー勝ちたいなあ。  
近江 ……僕も勝ちたいです。  
神田 はい。よく言えました。―さて、君たちはどうしようか？  
皆 ……。  
神田 あ、競技始まるみたいだね。

【体育祭 競技】

百メートル徒競走が始まるようだ。選手たちが現れる。  
ショウタ、ユウそれ以外はいろいろ。メンバーは池田・及川・弥生ちゃんかな。

ユウ ショウタ、出るんだ。  
ショウタ ……。  
ユウ あんた、帰宅部でしょ？ 走れるの？  
ショウタ 集中してんだ、話しかけんな。  
ユウ せいぜいがんばって。  
ショウタ ……。

【ショウタの回想】

リヨウマ ぼくたちの目的は騎馬戦リレーで勝つことだ。  
ショウタ 川島ちゃんに短パン履かせて、ウイニングラン！  
リヨウマ うん。―僕は写メだけでいい。  
ショウタ ムツツリの介め。  
リヨウマ ちよっと僕には刺激が強すぎるから。  
アキラ それで、軍師様、どうすれば？

リヨウマ 軍師？

シヨウタ お前は賢い上にムツツリだ。―エロを実現する力がある。

リヨウマ (照れながら) 買いかぶりだよ。

シヨウタ それで、俺らはどうすればいい？

リヨウマ 体育祭全ての競技は最終競技である騎馬戦リレーに直結している。

シヨウタ・アキラ ああ。

リヨウマ 順位によりポイントが振り分けられる。そのポイントが騎馬戦リレ

ースタート時のアドバンテージとなる。

シヨウタ・アキラ おお。

リヨウマ 騎馬戦リレーはスタートの位置が結果を左右するから、どの競技も落とせない。

アキラ でも、俺たち帰宅部だよ。一位になんかなれないよお！

シヨウタ アキラ。

アキラ シヨウちゃん。

シヨウタ そこら辺も考えてるんだろ、軍師様。

リヨウマ こそばゆいよ。

シヨウタ 言えよ。

リヨウマ うん。別に一位を取る必要はないさ。

アキラ だって―

リヨウマ 四位までに入ればいい。平均的にポイントを稼げばいけるよ。

アキラ それならいけそうだね！

シヨウタ おう！

リヨウマ そして、もう一つ。

回想シーン終了。

安倍が出てくる。

安倍 これから、お百メートルお徒競走をするぞまつす！ お位置について、

お用意、おドン！

一斉にスタート！

徐々にスピードに乗っていく競技者たち。

シヨウタだけ遅れる。

アキラ シヨウちゃん！ がんばだよ！

シヨウタ やっぱ無理だよお、俺、帰宅部だもん！

リヨウマ シヨウ君！

シヨウタ 四位にすら入れねえ！

リヨウマ リアルに思い描くんだった！

シヨウタ リアルに：

リヨウマ 思い込んだ！ ショウタ君は四番目に速い！  
アキラ 微妙！

リヨウマ アキラ君！  
アキラ ああ！ ショウちゃんは四番目に速い！

リヨウマ 思い込んだ！

ショウタ 思い込みの力：人がリアルに：リアルに思い描くことは実現する！  
俺は、この中で四番目に速ええええ！ 四番目に：速ええええええ！

ショウタのスピードが上がる。

他の四人に並ぶ勢い。

アキラ なんかいけそうだよ！

リヨウマ うん！

ユウ へえ、やるじゃん、帰宅部。

ショウタ 俺は帰宅部じゃねえ。

ユウ はあ？

ショウタ 今の俺のイメージは、この中で四番目に速い男！

ユウ なに、その妄想。妄想ばかりしてつから、もてねえんだつうの。

ショウタ お前、先週、七組の吉田と一緒に帰ったろ。

ユウ は？

ショウタ |自転車押しながら帰ったろ。

ユウ なに？ 見たの？

ショウタ 先々週は五組の武田：その前は2年の野球部：自慢じゃねえが、生

まれてこの方、女子と帰った経験はクマが出た時の集団下校しかねえ。

ユウ あそう。

ショウタ でもな、俺の妄想では、毎日女子と一緒に帰ってる。

ユウ (驚きの表情でショウタを見る)

ショウタ 毎日、とつかえひつかえだ。|手だつてつなぐさ。|恋人つなぎだ  
つて三日に一度はしてる。

ユウ きもーい！

ショウタ ふん！ 貴様のようなリア充には分かんたろうな。|リアルに思  
い描く力を。

ユウ そういのがキモイつうの。

ショウタ でもな、今回は違う。今回は思い込みを現実にする。だから、俺は

四位に入る。

ユウ キモさは一番なのにな。

ショウタ 三回言ったな？

ユウ なにが？

ショウタ キモイって三回言ったな。

ユウ それがなに？

ショウタ それ以上言うと、俺の堪忍袋の緒が切れるぜ。  
ユウ 何かっこつけてんの？ キモイんだけど。

袋の緒が切れる音。

ショウタ 「何かっこつけてんの？ キモイんだけど？」 …アキラのことか？

アキラのことかああああ！？

アキラ 僕じゃないよお！

ショウタがスーパーサイヤ人になった感じの効果音が入る。

アキラ ショウちゃん？

リョウマ 想像以上だ：

ショウタ うああああああ！

ユウ なに！？

ショウタのスピードが上がる。

他の競技者ぶつちぎり！

ユウ あんな妄想星人に！

シズク ユウ！

ユウ 追いつく！

しかし、ユウは追いつけない！

アキラ このままいけそうだね！

リョウマ 出来過ぎで怖いけど：

アキラ 何心配してんだよお！

リョウマ うん：ここはショウタ君に任せて、僕たちは。

アキラ そうだね！ ショウちゃん、がんば！

シズク まさか、ユウが：このままじゃ、アドバンテージを稼ぐプランが崩れ

る！ こうなったら：川島ちゃん！

川島 どうしたの？

シズク ショウタ、超がんばってない？

川島 そうだね！

シズク 川島ちゃんのエールがあると、そのまま逃げ切るよ！

川島 分かった。ショウタ君！ がんばって！

ショウタ ！？ 川島ちゃん？

川島 もうすぐゴールだよお！

ショウタ あれは、妄想？

シズク 現実だぞおお、シヨウタ！  
シヨウタ 現実：？  
シズク この川島ちゃんは現実だあ！  
川島 シズクちゃん？  
シヨウタ あ：あ：  
シズク ほら！

シズクが川島のお尻を触る。

川島 (可愛い悲鳴)

シヨウタ (スピードダウン)

川島 ちよっと！

シズク めんごめんご。

シヨウタ 思い込みの力はイメージを具現化しリアルを超越することに妄想が妄想として機能する：

シズク ほら、もうひと押し！

川島 もう！ シヨウタ君、かっこいいぞ！

シヨウタ しかし、妄想は妄想であってイメージを具現化しようともそこに温もりはない：しかし：あのお尻には温もりがあり、それはえ妄想ではなく現実を指し示すこととなり、妄想は霧散し、目の前に覆し難いリアルが登場する：

【シヨウタの回想】

場所は河原。

アキラ (水切りをしている) シヨウちゃん、それなに？

シヨウタ 俺の妄想番長が言っていた言葉さ。

アキラ ちよっと難しいなあ。

シヨウタ だから、お前は具現化できねえだ。

アキラ エロいかエロくないかってこと。

シヨウタ それも重要だ。妄想の原動力はエロだからな。でもな、妄想は妄想であって現実には勝てないってことだ。

アキラ そしたら、僕たちずっと勝てないね。

シヨウタ アキラ。俺たちが女子と手をつないで帰る現実なんて、ねえよ。

アキラ そっか。

シヨウタ だから、妄想すんだろ。

アキラ そうだね。

シヨウタ 妄想は妄想であることを認めた時に、見える景色もあるってことさ。

【回想シーン終了】

ショウタ アキラ、ごめん：

ショウタが止まる。

ショウタ 魔法が解けちゃった：

川島 ショウタ君？

ショウタ (川島にガッツポーズ)

川島？

ショウタ 川島ちゃん！

川島 ショウタ君？ ぬかれちゃうよ！

その脇を通り抜けるユウ

ユウ お先。

ショウタ 抜きたければ抜け。俺はリア充だから気にしない。

ユウ そう。

ユウがゴール。

他の面々もゴール。

シズク ユウ！

ユウ サンキュー。

シズク 川島ちゃん、ユウが一位！

川島 ユウちゃん、すごいね！

暗闇で覆われる。

ショウタ わが生涯に一片の悔いなし！

アキラ 一方、その頃！

リョウマ ここかな？

アキラ ここって、使われてない旧校舎でしょ。

リョウマ うん。

アキラ ここにいるの？

リョウマ いる。僕たちの切り札。ショウタ君の妄想番長。

声 ふくふく。

アキラ シッ！ 何か聞こえる。

声 ほらほら、こっちゃこい。よいではないかよいではないか！

ッヒッヒ！

アキラ なにこれ？

ヒッヒh



リヨウマ 楽しんでるんだ。  
アキラ え？

リヨウマ 今日は江戸時代なのかな？

声 お前の亭主は今頃、牢屋の中じゃ。—なんだ、その目は？ パシーン！ お  
おお、いいのお。その目、いいのお。

アキラ 怖いよ！

リヨウマ 恐れちゃだめだ！

声2 おやめください！おやめください！

アキラ ああ！ ここは江戸屋敷！ 目の前に広がるのは江戸屋敷！ 目の前  
に布団の海が広がる！

声 どこに逃げるというのじゃ？

声2 あああ：

アキラ 逃げた先は布団の海！

リヨウマ イメージに飲み込まれるな！

声2 そんなご無体な！

声 ほくれ！

アキラ 必殺帯回し！？

声2 あくれ！

アキラ だめだ：刺激が強すぎる：

リヨウマ アキラ君！

声 うはははははは！ 越後屋、そちもどうじゃ？

声3 お代官様もお人が悪い！

アキラ 人、増えてる！？

声2 いや：いや：

声 そちも嫌いじゃなろう？

声3 へい。

声2 来ないで：来ないで：

アキラ これ、どうなるの！？

リヨウマ アキラ君！ 電気を！ 電気をつけるんだ！

アキラ ええ！？ 気になる！

リヨウマ これ以上は危険だ！

アキラ —分かった！

電気がつく。

そこには座しているカズキ。

カズキ …？

アキラ あれ？ 布団の海は？

リヨウマ 久しぶりだね、カズキ君。—いや、妄想番長。

カズキ 何の用だ？

リヨウマ 現実の世界に戻ってこないか？  
カズキ ……。

リヨウマ カズキ君の力が必要なんだ。  
カズキ 体育祭だったな、今日。

カズキは立ち上がり、エア―でたばこを吸う。

アキラ たばこ？

カズキ (吸って) ふ〜。

アキラ (咳こむ)

リヨウマ 身体によくないよ。

カズキ 現実に興味はねえ。

リヨウマ 川島ちゃんに短パンを履かせるチャンスなんだ。

カズキ (吸って) ふ〜。―興味ねえよ。

アキラ どうして？ 太もも触れるんだよ！

カズキ アキラ：現実と妄想の違いってなんだ？

アキラ 違い：？ 触れるかどうかでしょ？

カズキ (吸って) ふ〜。 触ってどうする？

アキラ え？

カズキ 触ってから、次だ。

アキラ 次：？ リヨウマ君。

リヨウマ 次：ウイニングランして：それから：それから：

カズキ 現実残酷だ。俺たちの希望なんかお構いなしだ。―俺たちと川島ちゃんに次のステージはねえ。

アキラ・リヨウマ ……。

カズキ でもな、妄想は裏切らねえ。(吸って) ふ〜。

ユウ(妄想) カズキ！

アキラ ユウ！？

リヨウマ 違う！ 妄想だ。

カズキ あんだよ？

ユウ たばこ、やめるって言ったでしょ！

カズキ 関係ねえだろ。

ユウ ―あたし：カズキに長生きしてほしいもん：

カズキ あんでだよ？

ユウ 分かっているくせに：

カズキ わかんねえな。

ユウ ずっと一緒に居たいからだろ！

カズキ (たばこ消す) こっち来いよ。

ユウ 馬鹿：。今日はあたしのパパとママに会う日でしょ…。

カズキ そうだったな。

ユウ　しつかり挨拶してよね。  
カズキ　うるせー。―昇降口で待ってる。  
ユウ　うん。

ユウが走っていく。

ユウ　（立ち止まり）幸せになろうね！  
カズキ　知るか。

ユウ　（はにかみながらズキに手を振る。）  
カズキ　（手を挙げて返す）

ユウは消える。

カズキ　―俺は妄想でユウと五回結婚してる。

リヨウマ　カズキ君：

カズキ　子どもは常に二人。―次のステージってのはこういうことだ。

リヨウマ　僕たちは：なんて幼いんだ：

カズキ　気に病むことはねえ。

アキラ　：カズキ君はユウのことが？

カズキ　：好きだ：

アキラ　・・・。

リヨウマ　・・・。

カズキ　あいつ、今日、短パンか？

アキラ　うん：

カズキ　可愛いんだろうな・・・

アキラ　・・・

リヨウマ　・・・カズキ君、ひよっとして：

カズキ　コクったことある

アキラ　え？

リヨウマ　コクるって：告白したことあるの！？

カズキ　ああ：

アキラ　男だ：

リヨウマ　そ：それで？

カズキ　俺の妄想ではよ：うまくいく予定だった：あいつ、松潤好きだろ？

俺：ユウにコクるとき、顔、松潤だった。

アキラ　カズキ君：

ユウが現れる。

リヨウマがカズキの顔に松潤の顔を出す。

ユウ あに？  
カズキ 俺さー

ユウ うん  
カズキ 実はさ……  
ユウ なんかようあるなら、早くしてよ。  
カズキ ああ……  
ユウ 行くね。

ユウが行こうとする

カズキ 待てよ！

カズキがユウの腕をつかむ

ユウ あ？

カズキ 行くなよ。

ユウ ……

カズキ 俺さ、お前のこと好きなんだよな。ずっと前から…好きなんだ。

ユウ ……

カズキ だからさ、付き合ってくんねえかな？

ユウ ……

カズキ (くすつと笑い) OK？

ユウ キモイんだよ！

ユウの肘がカズキに入る！

カズキ 肘！？

ユウ あんで、あたしがあんと付き合わなきゃいけないんだっつうの！？

カズキ だって、お前、この前、俺に弁当の卵焼きくれたろ！

ユウ あれ？ 床に落ちたから。

カズキ え？ お前、俺のこと時々見てたろ！

ユウ 顔でさえなっと思ってたんだっつうの！

カズキ そんなわけねえだろ！

ユウ おい、ハゲ！ お前、なに、良い男ぶってんの？

カズキ だってお前、松潤好きだろ！

ユウ あんたのどこに松潤要素があんの？ あんた、ただのおっさん面だかね！

銃声。カズキ撃たれる。松潤の顔はどこかに飛んでいく。

ユウ 今日のことツイートすつから。

カズキ ちょっと待ってくれよ。

ユウ やだったら、五千円。

カズキ そんな大金！

ユウ そ。別にいいけど。

ユウが行こうとする。

カズキ 待ってくれ！

ユウ あ？

カズキ 分割でいいですか？

ユウ いいよ。早めにね。

ユウは消える。

アキラがカズキを抱きしめる。

カズキ 現実の残酷さは俺には酷すぎる。

アキラ カズキ君！

カズキ 妄想に温もりはないが：妄想は裏切らない：

リョウマ・・・。

カズキ 俺、まだ払いきってないんだ：ユウに。だから：お前らの力にはなれない：悪い：。

カズキはアキラを離し、立ち上がる。

カズキ 俺はここで妄想の中で生きるから：卒業式まで生きるから：

カズキは行こうとする。

アキラ 違う！

カズキ

アキラ 違うよカズキ君！ 君は、ユウの腕をつかんだ！ その手にユウの温

もりがあるだろ！ ふられたけど：おどされたけど：君の手には温もりが

あることは事実だろ！

カズキ (手を見る) ユウ：

アキラ 騎馬戦リレーは体同士のぶつかり合いがある！ ユウだって出る！

上手くいけば、また触れるかもしれない！

カズキ (アキラを見る)

アキラ 現実残酷だ！ 裏切られてばかりだ！ でも！ 触った事実も変わ  
らない！

リヨウマ アキラ君：  
アキラ だから、やろうよ！  
カズキ ……

カズキは窓の前に立ち

カズキ シャアア（カーテン開ける）ー！ 外の世界は眩しいんだな…カ  
チャ（窓のカギを開ける）ガアアア（窓を開ける）（空気を吸う）…  
短パンばかりだな…この光景…祭りだな…さながらフェスティバルってや  
つか。

リヨウマ カーニバルだよ。  
カズキ ？

リヨウマ フェスティバルって見るモノでさ、カーニバルはやるモノなんだつ  
て。今年は僕にとってカーニバルさ。

カズキ リヨウマ：

リヨウマ もちろん、カズキ君にとっても。

カズキ カーニバルか…リヨウマ。

リヨウマ なに？

カズキ 俺は何をすればいい？

リヨウマ カズキ君：

カズキ そして、二千元貸してくれ。

リヨウマ ……払うんだね。

カズキ 約束だからな。

### 【校庭】

女子たちが駆け足で入ってくる。女子による綱引きが行われる模様。

安倍 お続いで！ お女子お対抗お綱引きをするさまっず！ おスーツ！ ご  
登壇！

指令台に川島が立つ。女子は綱のところを整列する。

川島 それでは、両チームから関の声が上がります！

ユウ いい！ 団体競技での得点は高い！ 何が何でも取るよ！

女子たち はい！

ユウ シズク団長！

シズク いいかあてめらあ！ 耳の穴かっぽじって良く聞けえ！ あたいらは

っえええ！ メガトン級につえええええ！

ユウ ！？ シズク団長！

シズク あに？ あに？ あに？ あに？ いま、演説ぶってる時にあに？

ユウ あすこ：あすこを見てよ。  
シズク ああああん？ ——！？ ——ソウイチく：ん？

よく見ると、川島の指令台の下にソウイチが立っている。

シズク なぜに？ なぜにソウイチ君があすこに？

ユウ わからねい：わからねいです、団長。

シズク よしよしよし：おめえ、手振ってみろじゃ。

ユウ あっしが？

シズク んだ。

ユウ ♡ソウイチ君 ♡（手を振る）

ソウイチ ……。

ユウ 団長！

シズク 落ち着けえ。うしうしうし：われが手振ってみるじゃ… ♡ソウイチ君

♡（手を振る）

ソウイチ ……。

シズク （訛って）どういうことだ？

ユウ （訛って）どういうことだ？

シズク （訛って）どういうことだ？ ——二人でしてみるべ。

ユウ んだ。

シズク・ユウ ♡ソウイチ君！ ♡

ソウイチ ……。

ユウ （訛って）どういうことだ？

シズク まっさつか！

ユウ なに？

シズク （気づいて痙攣）はわわわわわ：

ユウ 団長！？

シズク ソウイチ君の視線の先になにかある？

ユウ え？ あああああ！ 川島の太もも！

シズク それだけじゃあああない！ 目細めてるううう！

ユウ まっさつか！

シズク 想像してる：川島の短パンを想像してるふふふふふ

川島 紅組、関の声を！

シズク ……。

川島 ？ 紅組？ 関の声を！

シズク 水平リーベ―僕の舟ええええええ！

川島 シズクちゃん？

シズク 復讐するは我にありありありありありありありありありあり

チ！ また逢う日までさようなら：川島ちゃん。——反語。もう二度と会えな  
いでしよう。

ユウ 団長！？

シズク あいつは魔女だ。

ユウ 魔女？

シズク 男子を…ソウイチくんを惑わす魔女だ…。あたいは決めたよ。騎馬戦

リレーで勝って：

ユウ 騎馬戦リレーで勝って？

シズク 川島を追い出す。

ユウ シズク：

シズク 川島を追い出す！！

ユウ シズク！

シズクとユウが頷き合う。

シズク いいかあメロウども！ 我々セブンチーンはあの魔女川島に何度煮え湯を飲まされた！？ 大人の女ってだけで、同年の男子はメロメロメロウだ！

女子たち (憎しみの唸り)

シズク しかし、それも今日まで！ 勝つぞおおおお！ 勝ってええええ！

川島にいいいい正義のおおおお鉄槌をおおおお！

女子たち (歓喜に満ちた絶叫！)

シズク ジャステイス！

女子たち ジャステイス！

全員 ジャステイイイイイス！

女子たちがものすごい一体感で小躍りしている。さながら謝肉祭。

川島 ブルッ！？ 何、この寒気…？

安倍 おスーッ！

川島 おスーッって…。

安倍 なんざますっ！？

川島 …。(笛を吹く)

女子たちが整列！

川島 両軍、手を上に！

女子たちは一斉に手を挙げる。殺気に満ちている。

川島 よーい！ (笛の音)



女子たちは一斉に綱を引っ張る。

女子たち ジャステイイイイイス！ ジャステイイイイイス！ ジャステイイイイス！  
イイイス！

女子たちは気合を入れて綱を引く。

そして、全てがサイレントになりスローモーションへ。

ソウイチはいつの間にか消えている。

笛の音。

シズクたちが相手チームを負かし、喜んでいる。

笛の音。

女子たちが退場する。

その様子を見ていたアキラとカズキ

アキラ シズクたちが勝った：

カズキ (後ろを向いている)

アキラ どうしたの？

カズキ ユウに会うのは、まだちょっとな：

そこに、リヨウマが動揺した状態で二人の下に現れる。

アキラ リヨ：ウマ君？ | どうしたの？

リヨウマ うん：

アキラ あ！ 百メートルどうだった？ | ショウちゃんの妄想パワーでみんな四位以内に入った？

カズキ どういうこった？

アキラ うん！ ショウちゃんの妄想具現化力でみんなをパワーアップさせて、

得点を稼ぐ：ってことなんだけど：リヨウマ君？

リヨウマ 誰も入っていないかった。

アキラ 入っていないって、四位以内に？ だれも？ だって、ショウちゃん

は一位で走ってたよ！

リヨウマ ゴール直前でリタイアだって。

アキラ リタイア？ どこか怪我したの！？

リヨウマ それがー

ショウマが段ボールを持って現れる。

その後ろに川島がいる。

川島 ショウマ君、大丈夫だから。

ショウマ いいからいいから♪ 川島ちゃん、スーツ汚れちゃうって。

アキラ ショウちゃん？

ショウタ アキラ。

川島 ショウタ君、大丈夫だから。

川島はショウタから段ボールを取り返す。

川島 ほら、棒ひき始まるよ。

ショウタ ああ。

川島が行こうとする。

ショウタ 川島ちゃん。

川島 |なに？

ショウタ 応援してくれてサンキュー♪

川島 惜しかったね。

ショウタ 一位って勲章より、大事なモノ手に入れたから。

川島 ? そっか。|遅れないんだよ。

ショウタ オツケ♪

川島は行ってしまふ。

その背中に手を振るショウタ。

アキラ ショウちゃん？

リョウマ 身にまとっているオーラが違う：

カズキ リア充の顔だ。

アキラ リア充？

リョウマ (全てを悟る)

ショウタ カズキ？ 久しぶりだな♪

カズキ 久しぶりだな。

ショウタ 元気してたか？

アキラ ショウちゃん！ 妄想番長だよ！ 妄想番長が戻ってきてくれたんだ

よ！

ショウタ 妄想？ なんだ、それ？

アキラ え：？ 何言ってるの？ ショウちゃんとカズキ君のダブル妄想パワ

|で僕たちに勝利をつってリョウマ君が|

リョウマ アキラ君。

アキラ なに？

リョウマ (首を振る)

アキラ ……。

リョウマ (ショウタの前に立ち)|ショウタ君、君、妄想を具現化できる？

ショウタ ああ、どうだろ。―出せねえかもな。

アキラ ショウちゃん！

ショウタ 必要ねえもん。

三人 . . . 。

カズキ 便所行ってくる。

カズキが消える。

アキラ . . . 。

リヨウマ . . . 。

アキラ ショウちゃん：必要ないって：どういうこと？

ショウタ (面倒くさそうに) え？

アキラ (短パンを出して) マドンナに短パンは？

ショウタ (面倒くさそうに) それ？ いいだろ、もう。

アキラ いいって：どういうこと？

ショウタ 悪いけどさ、もう、いいんだよ。

アキラ わかんない。

ショウタ 俺、気づいたんだ。―ひよっとしたら手が届くかもしれないって。

―川島ちゃんに応援された時に、手伸ばせば届くかもって。―そしたら力湧いてきてよ。

アキラ . . . 。

ショウタ んじゃ。

リヨウマ 待つて！

ショウタ なんだよ。

リヨウマ 生徒と先生だよ。

ショウタ そうだな。

リヨウマ 僕たちはマドンナのことを何にも知らないんだよ。

ショウタ そうだな。

リヨウマ ひよっとしたら彼氏だっているのかもしれない。

ショウタ キーパーいてもボール持ってたらシュートするだろ。

衝撃音

二人 . . . 。

ショウタ ひよっとしてお前ら、キーパーいなくなるって思ってる？ 絶対入

るシュートってあると思ってる？

二人 . . . 。

ショウタ だからお前ら妄想族は。

アキラ 妄想族？

ショウタ お前らは、ゴール前でただボール回ししてる日本代表と同じだ。

アキラ 妄想族ってなんだよ：

シヨウタ 俺はリア充だからさ、妄想なんて、もう必要ねえんだ。 じゃ。

シヨウタが行こうとする

アキラ 妄想族ってなんだよ！ みんな、シヨウちゃんについていこうとしたんだ！ みんなでマドンナに短パンはかせようとしてんだ！ それを妄想族って…見損なつたよ！

リヨウマ アキラ君：

シヨウタ どう思ってくれても構わねえよ。俺、リア充だから。 じゃ。

シヨウタが二人のもとを去る。

アキラ バカ野郎：

リヨウマ ……

アキラ どうしよう？ —このままじゃ—

リヨウマ —アキラ君。

アキラ —何か思い—

リヨウマ 君がやるんだ。

アキラ —え？

リヨウマ 君がリーダーだ。

アキラ お、俺？ む、無理だよ！ —リヨウマ君やってよ！

リヨウマ 僕じゃだめだ！

アキラ なんで！？

リヨウマ 僕は誰からも相手にされていない。—君とシヨウタ君だけだよ、僕の声聞いてくれるのは：

アキラ リヨウマ君：

リヨウマ 最後の体育祭だよ。—僕、ずっと見てた…眺めてた…女子の短パン、こっそりカメラで撮ってた…でも…僕も参加したい…

アキラ リヨウマ君…。…でも、俺じゃ無理だよ。

リヨウマ 無理でもやるんだ。

アキラ だって…

リヨウマ 迷ってる時間はない。

アキラ え？

係りの者が棒を数本持ってくる。

安倍が出てくる。

安倍 お続いてのお競技！ お男子によるお棒引き！

男子生徒たちが威勢の良い掛け声をあげて入ってくる。  
そこにショウタの姿はない。

男子生徒たちはアキラのところに集まり、休めの姿勢。

アキラ あ：

安倍 お両軍より、お関の御ボイス、おちようだい！

リョウマ アキラ君。

アキラ ショウちゃんは？ ショウちゃー

リョウマ アキラ君！

アキラ ・・・。

アキラは陣地の台の上にあがる。

アキラは周りに集まっている男子の顔を見渡す。

男子生徒たちはアキラをじっと見ている。

アキラ …。(短パンを天高く掲げる)——！(呟くように)この短パンを…マド

ンナに…はかせる…(自分に言い聞かせるように)——この短パンを—マド

ナに—はかせる。——(はつきりと周りに)——この短パンをマドンナにつ！—

はかせるっ！

男子生徒 おおおおおおおおお！

アキラ マドンナにいいいい！

リョウマ アキラ君！

アキラ はかせるううううううう！

リョウマ&男子生徒 おおおおおおおお！

安倍 (笛のね)お位置におついて！

アキラ いくぞおおおおお！

リョウマ&男子生徒 おおおおおおおお！

男子生徒たちが整列する。

アキラとリョウマも並ぶ。

リョウマ お見事。

アキラ からかわないですよ。

リョウマ (微笑んで、真顔に戻る)——ここから勝負だよ。

アキラ わかっている。

安倍 およーい！ (笛に音)

壮絶な棒ひきが始まる。

アキラとリョウマが必死に棒ひきをする。

【体育館裏】

サリナがいる。  
そこへ師岡が来る。

師岡 何の用かな、サリナ君？ 校長の私をこんな体育館の裏に呼び出して。

サリナ（小声で）うくらら〜

師岡 どうしたんだい、いったい？

サリナ（小声で）うくらら〜

師岡 忙しいんですよ、私は。

サリナ（小声で）うくらら〜

師岡 失敬。

サリナ お待ちになって！

師岡（回れ右）なんですか？

サリナ うらら〜

師岡 サリナ君？

サリナ この世はデイストピア：星屑ロンリネス：私は変革者：

師岡 変革？ グッド。君は潰したいんだね、この学校を。

サリナ YES！ I DO 若松！ 磐梯山！

師岡 破壊から生まれる―全ては。私も変えたいんです、日本の教育を。

サリナ さながら私たちはロミオとジュリエット：真逆の関係：さながら水と

油：さながら：（考えるが思い浮かばない）

師岡 S極とN極―磁石の

サリナ え？

師岡 立場は違えど

サリナ 立場は違えと？

師岡 惹かれ合う

サリナ うくらら〜♡

いい感じのポップなラブソングが流れる。

サリナ だめよ！ 私は四十二：そして、校長と生徒という関係：

師岡 全ては破壊からBorn it

サリナ 生まれる：？

師岡 Born

サリナ わたし、入学式の時、初めてあなたに出会った。赴任したてのあなたを見て、恋に落ちた：トチオトメだった。

師岡 ヒトメボレだね。

サリナ そう、ヒトメボレ。でも、あきらめようとした：学校に登校するたび、わたしの胸はバリ堅麺。

師岡 張り裂けそう

サリナ そう、張り裂けそう。だから、学校に来ることをやめた：

師岡 そうだったんですね。―でも、なぜ今になって学校に？

サリナ だって、そろそろ私はグラディエーター：」

師岡 グラデュエーション―卒業。

サリナ そう。卒業。妄想もあきた。現実には一歩足を踏み入れようと：でも、あなたの顔を見るとやっぱり：こんな学校がなくなれば、校長と生徒という垣根は消え、ただの男と女になると思っている：

師岡 サリナ君：

サリナ うーららー！ 笑っちゃうよね、私、四十二なのに：でもね！ 今日体育祭だから、攻めてみたんだよ。：短パンで。

師岡 (外人風に) オーイエ

サリナ おかしいかな？

師岡 ステキだよ：

サリナ ありがとう：嬉しい：

師岡 サリナ君：

サリナ 呼び捨てにして：

師岡 …サリナ

サリナ 校長：

サリナと校長が惹かれ合う。そして、抱き合おうとするが

サリナ うーららー！ (モンゴリアンチョップ！)

室岡 (驚きの声&卒倒)

サリナ 婚前交渉は認めません！

室岡 サリナ：？

サリナ 私が騎馬戦リレーで勝利し、この学校を無くした時に：ファイアー。

サリナが行こうとする

師岡 待ちたまえ！

サリナ なんでござる？

師岡 分かっているのか、君は？ ―学校を潰すということは私の夢を潰すということに。

サリナ …タンポポはアスファルトであっても咲くという。―此度の戦はトライアル：メギドの火によって焼き尽くされる私とあなたのストーリー。フェニックスのクロスは不死鳥のように再生するという。ならば、ゴルゴダの丘であなたを待ちましょう。

サリナは歌いながら校庭に戻っていく。  
独り残る師岡。

師岡 サリナ君：何を言ってるのか分からない……。しかし、私も譲らんよ。

この騎馬戦リレーで勝利し、我々教師の威厳を復活させる！そして！サ

リナ、君を私の下に！――副校長先生！副校長先生！

安倍 （忍びのように現れて）おはっ！

師岡 そろそろ騎馬戦リレーですね！

安倍 おはっ！

師岡 用意を！

安倍 ――お校長先生！

師岡 （安倍を見る）

安倍 お自ら！？

師岡 私は――解説で。

安倍 ……御意。

師岡 さあ、教師の威厳の復活の時です！ふははははふははははは！

#### 【最終レース騎馬戦リレー開始前】

生徒たちと教師がわらわらと出てくる。頭には紅白帽子。

それぞれ、屈伸などをして体を動かしている。

安倍 お体育祭もお最終お競技！お体育祭お名物！お騎馬戦おリレー！

――お校長先生！

師岡 約束通り、この騎馬戦リレーに勝ったチームの願いを一つ叶えよう！

参加者の雄叫び！

#### 【女子の陣営】

シズク あたしが上。ユウが前衛馬！後衛馬右がサクラ！サリナは左！

ユウ アドバンテージはうちらが一番だかんね！このまま突っ切るよ！

サクラ OK！

サリナ 上？前衛場？後衛馬？聞いたことの単語ばかり……。おのきな

がら）ここは二十二世紀ですか？セワシ君はいますか？

シズク 落ち着いて！騎馬は三人。

ユウとサクラが騎馬を組む。

ユウ サリナは後ろ。

サリナ 合点承知ノ助！

サクラ 私たちが後衛馬。

サリナ ほうほう。

ユウ 私が前衛場。とにかく引張るから離れないで。

サリナ 合点承知ノ助！

シズク そして、私が上。――シズク、乗ります！



ユウ・サクラ はい！  
サリナ —はい！

シズクが上に乗る。

四人 せーの！

騎馬が立ち上がる。

シズク 上は帽子を白。そして、馬は帽子を赤のまま。

サリナ して、リレーというのは？

シズク 今、私たちがかぶっている帽子をどれか一つでも四周してゴールさせればいい。騎馬の組み替えは自由。—シズク、降ります！

三人 はい！

四人 せーの！

シズクを下して、騎馬を崩す。

サリナ 一つでもというの？

ユウ 騎馬戦だから—

サクラ 帽子を取るのは自由。

サリナ —全部取られたら？

シズク リタイア。

サリナ 屈強な男子たちと戦を交えるというのか：

シズク 怖気づいた？

サリナ 武者震いでござるよ。—私は変革者。何者にも恐れはしない。

ユウ 大丈夫。—逃げ切るためにアドバンテージを稼いだ。—あとは、私の足で誰にも触らせない。

シズク 勝つよ。

ユウ もち♪

サクラ うん。

サリナ すまんの：私のユートピアのために。

シズク 大丈夫。—ここは民主主義の国だから。

サリナ ん？

ユウ 多数決なんて、気にしないで。

サリナ ん？

サクラ 応援してるから。

サリナ ん？

シズク ともに戦いましょう！ 私たちのユートピアのために！

サリナ お、おお！（首をかしげる）  
シズク おおおおお！  
三人 おおおおおお！

【教師たちの陣営】

近江 結局、この四人ですか？

松岡 そだね。

三田 たるい。

神田 なんだ、その態度はあ？

三田 神田先生はやる気なんだからさ。

近江 ダメですよ。負けたらクビかもしれないだし。

三田 ないない。

近江 だって—

三田 あんね、ここ私立（わたくしりつ）じゃなくて公立。校長の一言じゃどうにもならない。

近江 —あ。

三田 ま、近江先生は神田先生の言うこと聞かなきゃいけないだろうから。

神田 俺たち心の友だから。

近江 —はい。

松岡 たださく

三田 なに？

松岡 やるからには負けないよ。

三田 だ！ 体育会系のノリ。

松岡 ガキにやできない駆け引きってのがあがあるのを見せてやらんな。

三田 もう、目つき違うよ。—川島は？

近江 だって、彼女—

三田 あ：そうかつ！ あの女：上履きに画鋲仕込んでやるかなっ！

神田 やつかみはいけません。

三田 不人気先生に言われたくないね。

神田 人気とか関係ないもん！

師岡 （現れて）頼みますよ。

神田 任せてください！

師岡 頼もしい。—勝つたら、ささやかながら、すし屋で慰労会をしましょう。

三田 ! クルクル寿司じゃないですよ？

師岡 もちろん。—私のポケットマネーで。

三田 うにうにいくらほたて：のった。

近江 現金だな。

師岡 教師アドバンテージも用意してますから。

師岡は消える。

四人、それぞれ体を動かし始める――

松岡 別にあんたのためにやるわけじゃないけど。

近江 確かに、負けるのは、ねえ。

松岡 でしょ。

三田 あたしや、寿司。

神田 大人の力、見せましょ。

三人 うす！

【男子生徒陣営】

リヨウマ・アキラ・ソウイチ・カズキがいる。

アキラ シズクたち、すごい気合だな……。

リヨウマ ごめん、僕の作戦ミスだ。

アキラ リヨウマ君のせいじゃないよ。

リヨウマ まったくアドバンテージを稼げなかった。それどころか……さっきの棒ひきで動けるのは僕たち四人だけに……

ソウイチ 周りにたくさんいるね。ラグビー部や野球部、サッカー部……クラスじやなくて部活で組んでるところもあるよ。

カズキ (遠くを見て) ユウ……

リヨウマ カズキ君。

カズキ (見る)

リヨウマ 最初はカズキ君の力が必要だ。――一瞬でいいから妄想を具現化してほしい。彼らを足止めてほしい。

カズキ わかった。やってみる。

リヨウマ 上はシズクたちに追いつくまではソウイチ君だ。

ソウイチ 僕？

アキラ なんて？

リヨウマ それは……

カズキ ユウとシズクはソウイチが好きだからだ。

アキラ え？ そうなの！？

カズキ ああ。

ソウイチ あ……そうなんだあ。気づかなかったなあ……むふ♪

カズキ てめえ！ (ソウイチの胸ぐら掴み) 変な妄想してんじやねえよ！

ソウイチ してないよ！

アキラ 落ち着いて！

アキラはカズキの手をソウイチから放させ――

アキラ こんなんじや、勝てないよ！

カズキ …悪い。  
ソウイチ …。

リヨウマ まずい、このままじゃ…

ショウタ（回想） おい、軍師！

リヨウマ ショウタ君…どこ行っちゃんだよ…

ショウタ（回想） お前は賢い上にムツツリだ。―エロを実現する力がある。

リヨウマ（ギリツ） いい加減にするんだ！

三人 …？

リヨウマ 僕たちの目標は何だ！ マドンナを短パンにすることだろ！ みんな、それを夢見て戦って…倒れていった…今仲間割れを起こしている時じゃないだろ！

アキラ リヨウマ君…

二人 …。

リヨウマ …（思わず言ってしまった）！ ―ごめん…

安倍 お位置にお着くおぎます！

リヨウマ あ…

四人 …。

安倍 お位置に！

アキラ ほら…

カズキ・ソウイチ …。

リヨウマは前衛場、カズキは左後衛馬、アキラは右後衛馬。

客席に後ろを向けて騎馬を組む。

ソウイチは台の上に乗る。（照明で区切るなり、単サスで抜くなり）

ソウイチ セーの！

騎馬が客席の方を向く。

リヨウマ 僕―

アキラ 大丈夫。

カズキ …分かってるよ。

安倍 およーい！（笛の音）

各馬一斉にスタート！

アキラたちの馬もスタートする。

アキラ みんな速いよ！

リヨウマ …困まれた？

カズキ カモられたな…

ソウイチ わぁ！！！！ みんな、僕を狙ってくる！  
アキラ 帽子とられる！

リョウマ カズキ君！

カズキ …

リョウマ カズキ君！！！！

カズキ 出よ！ 不人気先生神田大明神！

神田が現れ

カズキ お色気ポーズ！

神田 うっふくん♡

周りの騎馬武者たち おうえっ！

神田消える。

リョウマ ナイス！ カズキ君！

アキラ なんか複雑…

ソウイチ カズキ君、ありがとう！

カズキ てめえのためじゃねえ。ユウに会うためだ。

ソウイチ …。

アキラ …。

リョウマ とにかくとばそう。

【女子騎馬VS教師】

★教師チーム 上・近江 前衛場・神田 右後衛馬・三田 左後衛馬・松岡

シズク つうか、なんでうちの前に先生いんの！？

ユウ つうか、速い！

サクラ 引いてるの神田でしょ！？

シズク 神田が速いってマジキモイ！

神田 なんか、女子生徒たちが俺のこと褒めてる？

近江 知らない方がいいっす。

神田 なんでなんで、教えてよお！

近江 まじ知らない方良いっす！

サリナ あそこのチームに負けてはならん！

ユウ 分かってるよ！ あげるよ！

女子チームが加速。

三田 おおおお、結構がんばってるでないの！

近江 (後ろ見ながら) でも、まだまだ差ありますよ。

松岡 (神田に) 意外にやるじゃん。

神田 学生時代陸上部ですから。女子高生には負けません。

三田 上から目線―感じワル。―人気なかったっしょ。

神田 走るの人氣必要ないですから！

松岡 ちよっと静かに！

三田 なに？

松岡 様子がおかしい！

松岡はユウにチェンジ。

近江 え？ そう？

ユウ メタモルフオーゼ！

サクラ ガガガガシン！

サリナ ガガガガシン！

サクラ・サリナ コンプリート！

近江 騎馬が一直線に？

神田 騎馬じゃないね。

三田 あの形：破るよ。

近江 ―何を？

三田 音速の壁。

近江 マツハ？ ―神田先生！

神田 俺、マツハ文珠の物まねとか無理だよ！

近江 ちげーよ！

ユウ 女子高生なめんじゃねえよ！

ユウの速度が上がる。

神田とユウのデッドヒート！

近江 追いつかれる！

三田 変わって！

近江 え？

三田 早く！

近江 はい！

三田が騎馬の上に。近江は騎馬に。

三田はユウの方に向き―懐から糸についた五円玉を出す。

神田・近江 懐から出したのは五円玉！ 糸の付いた五円玉！

ユウ なに？

三田 使いたかないけど、しょうがあんめえ。―あなたはだんだん眠くなる。あなただんだん眠くなる…

近江・神田 効くのそれ！？

ユウ あゝ眠くなってきた…

近江・神田 あんたすげーな！

三田 今のうちに！

神田 らじやー！

三田 見さらせー！ これが大人の力じゃい！

神田たちの速度が上がる。

三田がシズクにチェンジ。

シズク 離れていく！ ユウ！

ユウ あゝ右手と左手が離れません…

シズク ちよっとしつかり！

ユウ あゝ！ 離れた！

ソウイチ シズクー！ ユウー！

気づくと男子の騎馬が女子の騎馬の後方に現れる。

シズク・ユウ ♡！ ソウイチ君！

ソウイチ ちよっと待ってよお！

シズク・ユウ 待つう！

サクラ ちよっと！

アキラ 追いつける！ ソウイチ君はそのまま！

ソウイチ 了解！

サリナ (ソウイチを目視し)あやつか！ ごめん！(シズクと上をチェンジ)

シズク なに！？

サリナ ―サクラはユウと！

サクラ 了解。

先頭がユウからサクラへ。

ユウ 何よ！

シズク 邪魔しないでよ！

ユウ・シズク (ギャーギャー騒ぐ)

サリナ うーらら！(一発)ら！(二発)

ユウ・シズク キュー！

ソウイチ スピードが落ちた！

アキラ このままいくよ！ ―並ぶと同時に帽子をかつさらえ！

ソウイチ OK! (なぜか、左手にはめている軍手を外す) : 僕の使い込ん

だ―この左手の力を:

アキラ サウスポー!?

ソウイチ 右側に回り込んで!

アキラ 了解!

ソウイチ シズク! ユウ! 待ってってばく!

サリナ・サクラ (帽子を深くかぶる)

アキラとサクラの位置争い。

アキラがサクラに並びそうになる。

ソウイチ やっと追いついた♪ その帽子取っちゃいなよ。

サリナ どうして?

ソウイチ だって、顔よく見えないだろ。

サリナ いや:

ソウイチ どうして?

サリナ それは―

サリナ・サクラ こうするためだよ!

ソウイチ え?

サリナ うくららく! (ソウイチにモンゴリアンチョップ)

サクラ ブッチャー! (アキラに地獄突き)

ソウイチ・アキラ グフツ!

ソウイチが落馬する

ほぼ同時に女子の騎馬は去っていく。

アキラ ソウイチ君!

ソウイチ (大きな声で痛がる)

リョウマ ソウイチ君!

アキラ これはひどい:

カズキ (ソウイチに肩を貸し)一緒に走るぜ。

リョウマ・アキラ (カズキを見る)

カズキ 行けるよな?

ソウイチ もちろん!

アキラ リョウマ君、上に!

リョウマ OK! 離されないようにくらくらいつこう!

三人 おう!

三人は騎馬を組んで女子チームの後を追う。

【校庭を見渡せる場所】



川島が騎馬戦リレーの様子を見ている。  
そこにショウタが来る。

ショウタ 川島ちゃん。

川島 ショウタ君？ | どうして？

ショウタ (騎馬戦リレーの様子を見て) もう、俺、あの世界の住人じゃないんだ。| 抜け出せたから| 川島ちゃんのおかげで。

川島 …？ あ！ シズクちゃんたち二位だよ！ | リョウマ君たちもがんばってる。 なんか、複雑だな。先生たちにもがんばって欲しいし…うん♪ み  
んなく！ がんばれ！

ショウタ 可愛い…

川島 え？

ショウタ なんでもない。

川島 …？ | シズクちゃんたち、勝ったら何お願いするつもりなんだろう。

| 知ってる？

ショウタ 女子共が考えそうなことは分かっている。

川島 なに？

ショウタ | 俺、何があっても護るから。

川島 …ん？

ショウタ 俺…力ないけど、何の才能もないけど…こう、両手で抱え込める範囲は命にかえても護れると思う。

川島 ん…うん？ | そっか。

ショウタ きつと…人を愛するってそういうことなんじゃないかな？

川島 ショウタ君。

ショウタ ん？

川島 どうしたの？

ショウタ ごめん…もったいつけちゃったな。

川島 ？

ショウタ この輪の中に入るの…一人じゃん。| その一人、見つけたんだ。

川島 | うん。

ショウタ この広大な星空の下に…たった一人…見つけたんだ。

川島 | うん。

ショウタ それはさ…

坂下 ユリ！

用務員の坂下がカットイン！

川島 おそい！

坂下 わり。

ショウタ ん？

川島 トモ、その恰好で行く気？

坂下 着替えるって。―お父さん、お母さんは？

川島 駅で待ってるって。

坂下 んじゃ、迎えに行けばいいか。

シヨウタ ユリ？ トモ？ ん？ (坂下を見て) 用務員さん。

坂下 あ、知っててくれたの？ 生徒さんたち、あんま声かけてくれないからなく。

川島 トモが不愛想だからでしょ。

坂下 そんなことないって。

シヨウタ ……。

川島 シヨウタ君、ごめん。―私、今日、最後までいられない。

シヨウタ ん？

川島 これ、まだ内緒にしているほしいんだけど―(坂下を肘でつつく)  
坂下 俺たち結婚するんだ。

銃声。

川島 それで、今日式場の人と最終打ち合わせで：こんな恰好で―  
坂下 焦りすぎなんだよ。

川島 だってえ！ ―ホント、ごめんね。―今日しか取れなくて。

シヨウタ シカタナインジャナイカナ

川島 それで：この人が家、護ってくれて言うから、今月で退職するんだ

シヨウタ マモルツテタイセツデスモンネ

坂下 いいのか？

川島 講師だし―校長先生には、ずっと前に話してるから。

シヨウタ オメデトウゴザイマス

坂下 ありがとう。

川島 いこ♪

坂下 おう。

坂下と川島は仲睦まじく、シヨウタから離れていく。

シヨウタ カミサマ：ボクニハボールスラアタエラレテイナナカッタヨウデス  
：タンパンヲハカセルコトモムリダッタヨウデス

シヨウタは両手で自分を抱きしめる

シヨウタ サムイ：ホシゾラノシタハコンナニモサムインデスネ：

シヨウタは体育座りをする。

【校庭】

校庭では男子と女子のデッドヒート！

ユウ しつこいな！

サクラ ホント！

サリナ あれだけ若者が元気だと、日本の未来は安泰じゃ！

ユウ 感心すんな！

シズク ターボ使うよ！

三人 OK！

シズク (大きく息を吸い) んちやゝゝゝゝ！

加速音！

女子たちが加速する。

ショウウタが思わず校庭を見る。

アキラ 鼓膜破れる！

カズキ ユウ！

ソウイチ …

アキラ ソウイチ君大丈夫？

ソウイチ タンパン：タンパン：川島先生にタンパンを！

リョウマ まだいける？

三人 ああ！

ショウウタ (立ち上がる)

リョウマ ごめん、無理させて！

ショウウタ リョウマ：

アキラ やめてよ！ | みんな自分のためにやってるんだから！

ショウウタ アキラ：

カズキ 二千円をユウに！

ショウウタ カズキ：

ソウイチ ウイニングランしようよ！

ショウウタ ソウイチ：

リョウマ ふふふふ：

アキラ リョウマ君？

リョウマ (笑う)

アキラ どうしたの？

リョウマ いや、僕たちキモイなって！

アキラ リョウマ君：

リョウマ マドンナに短パンはかせるためだけに、こんなに一生懸命なってさ。

| カズキ君なんて、口止め料払うためだけなんだよ。

カズキ ちがいないえ。

リョウマ そう思ったら笑えてきた！

間。

アキラ キモイね。

カズキ キモイな。

ソウイチ 変態だね。

リョウマ キモくて変態だ。

四人 俺たちキモイなく！

四人大笑い

リョウマ だからこそー行くよ。

アキラ ああ。

カズキ おお。

ソウイチ うん。

リョウマ 行くぞお！ まくれ！

三人 うおおおおお！

リョウマたちは猛然とスパート！

ショウタ お前ら…むだなんだよ…川島ちゃんに短パンははかせられないんだ

よ…

女子たちと並ぶ。

男子と女子のデッドヒート！

ユウ 邪魔すんな！ あたしたちは川島を追い出すんだ！

カズキ ユウ！

ユウ ー二千円。

カズキ ーこのレースが終わったら払う。

ユウ そ。

シズク キモカス野郎。また、消してやろうか？

アキラ 消えないよ。俺たちは消えない。

先生たちにチェンジ。

松岡 ガキ共がまた来てる！

三田 しつこいな！

神田 もう足もげそうなんですけど！

松岡 もげろ！ もげてしまえ！

神田 もげたら走れませんか！

松岡 ガキどもに大人のプライド見せるんだろうが！ —もげても走れ。

神田 —OK。

男子と女子の前に教師の騎馬が。

リョウマ とらえた！

三組のデッドヒート！

シヨウタ バカ野郎！川島ちゃん！追い出さなくても勝手にいなくなるんだよ

：お前らががんばる必要なんかねえんだよ…先生たちはよくわからないけど  
：バカだよ！勝っても何にもならないのによ…

川島 シヨウタ。

シヨウタ 川島ちゃん！妄想…？

川島 そ。シヨウタが創り出した妄想。

シヨウタ 俺には必要ないよ…もう。

川島 行かないの？

シヨウタ 行っちゃって、意味ない。

川島 意味って必要なの？

シヨウタ 必要だろ。

川島 私を短パンにする意味って？

シヨウタ え？

川島 私を短パンにする意味はなんだったの？

シヨウタ …見たいからだろ。

川島 見てどうすんの？

シヨウタ え？

川島 本当は意味なんてなかったでしょ。—でも、楽しかったんでしょ？

シヨウタ 知ったようなこと言うな、妄想のくせに！

川島 私はシヨウタだよ。

シヨウタ …？

川島 シヨウタが願うから私が生まれた。結果なんて意味がない。どうありたいか、どうなりたか、願うから前に進むんじゃない？

シヨウタ …。

川島 シヨウタはどうありたいの？

シヨウタ …あの中にいたい。—あの中に—あの中にいたい！

川島 そ。—行っちゃっしやい。

シヨウタ うん。

川島 さようなら。

ショウタ ―ありがとう。

ショウタが猛然とダツシュ。

ショウタ ―でも、なにすりゃいいんだ？

男子騎馬チームが出てくる。

リョウマ まだだ！

アキラ 並んだ！

カズキ 帽子とられるなよ！

ソウイチ 身をかがめて！

リョウマ わかつてる！

ショウタ ―みんな：行って考える！

ショウタが加速！

舞台上ではショウタが走っている。

三田 並ばれた！

松岡 やるじゃん！

神田 教師の威厳！

サクラ 男子も来てる！

サリナ ユクトピア〜！

ユウ 離せない！

シズク ジャステイイイイス！

カズキ 俺たちは速え！

ソウイチ 妄想？

カズキ 妄想じゃねえ！

アキラ 信じるだ！

ソウイチ 信じる？

リョウマ そうだよ！ 僕たちは速い！

男子は騎馬になる。

ショウタはゴール付近に着く。

ショウタ みんな〜！ こつちだあああ！ ゴールはここだあああ！ もう少

しだから！ もう少しだから！ がんばれ〜！ がんばれ〜！ 届かな

い：どうすれば：あ！ もう一回だけ力を：みんな〜！

アキラ ショウちゃん？

リョウマ ショウタ君だ！

カズキ　なんだ？

ソウイチ　何て言ってるの？

ショウタ　これを見ろくくくく！　短パン姿の川島ちゃんだあああああ！

指令台のところに短パン姿の妄想姿の川島が現れる。

四人　マドンナだアアア！

川島　がんばってくくくく！

四人　がんばるううううう！

ショウタ　がんばれくくくく！

四人　うわあああああああ！

男子チームがゴール。

ゴールのピストル。

ショウタが四人のもとに駆け寄る。

暗転。

【エピソード】

教師たち

安倍　お校長先生。

師岡　教師の威厳の復活はなりませんでしたか。

四人　・・・。

師岡　次の機会を待ちましょう。―文化祭ですかね。

師岡と安倍は消える。

三田　いい運動になった。

近江　ホントに。

松岡　久しぶりにあつくなつたかな。

近江　どうしたんすか？

神田　不人気先生のまんまだ：

三田　そんなことないんじゃないの？

松岡　そうそう。

女子生徒　神田先生。

神田　なに？

女子生徒　みんな待ってます。

神田　なんで？

女子生徒　え？　だって、帰りの短学活しますよね？

神田　今まで残っていたことないのに：

女子生徒 みんな待ってますよ。

神田 おう！

近江 騎馬戦リレーかっこよかったってことじゃないすか？

神田 そうか。

近江 いったいっただ。

神田 おう！

【女子】

シズク あゝ

ユウ あゝ

サクラ あゝ

シズク がんばりぞん？

ユウ がんばりぞん。

サクラ がんばりぞんか。

サリナ うららゝ

シズク どうしたの？

サリナ ユートピアが：

シズク ガッコにくれば？

サリナ かしですな：校長（ごによごによ）

シズク 楽しかったっしょ？

サリナ まあ：

シズク なにあつたのか知らないけどさ、とりあえず来て、あたしらとわあわあしてればいいんじゃないかね？ ね。

ユウ んだ。

サクラ んだ。

サリナ みんな：

シズク ね。

サリナ うらららゝ

サリナがシズクにモンゴリアンチョップ。しかし、シズクはそれを受け

シズク うらららゝ！

サリナ うっ！

シズク ボスはあたし。

サリナ |は。

ユウ 行くか。

シズク んだね。

女子たちは消える。



【男子】

ソウイチ 二千円渡しに行くの？

カズキ ああ…

ソウイチ 僕、渡しとく？

カズキ だめだ！

そこにユウが現れる。

カズキ あ…

ユウ ……。

カズキ 二千円…

ユウ 今、財布ないから、あとで。

カズキ そうか…

ユウ これ。

ユウが弁当箱を渡そうとする。

カズキ ？

ユウ 卵焼き。

カズキ (受け取る) —これ—

ユウ 落ちてないから。—悪くなってるかもしれないけど、あたしのせいじゃないから。—んじや。

ユウが行こうとする。

カズキ ユウ。

ユウ あ？

カズキ 洗って返す。

ユウ 当たり前だ

ユウが消える。

ソウイチ ひゅー。

カズキ そんなんじやねえ！

ソウイチとカズキが消える。アキラとリョウマとショウタが来る。

アキラ 残念だったね。

ショウタ まあな。

アキラ 結局妄想どまりか。

シヨウタ ……まあな。

リヨウマ でもさー

アキラ・シヨウタ (リヨウマを見る)

リヨウマ ……参加できた……見てるだけじゃなかった……カーニバルだった……

シヨウタ そうか。楽しかったか？

リヨウマ ……うん。……楽しかった。

アキラ ……俺も楽しかったな、カーニバル。

シヨウタ そうか。

アキラ うん。

シヨウタ あのよ！

アキラ なに？

シヨウタ 川島ちゃんの次にくるの女の先生じゃね？

アキラ ああ！ そうだね！

リヨウマ ……どんな先生かな！？

シヨウタ ……今度はプリンプリンのプリンちゃんだな。

アキラ ……プリンちゃん！？

リヨウマ ……刺激が……

シヨウタ ……むっつりのすけ！

リヨウマ ……ごめん。

シヨウタ ……うし！ ……妄想すっぞ！

アキラ・リヨウマ ……うん！

三人 ……プリンちゃん！！！！ ……カマ〜〜ン！

三人は見えない未来を明るく想像をする。

【終わり】

初演上演記録

《上演日時》

2014.11.7 (金) 19:30  
2014.11.8 (土) 14:00 / 19:00  
2014.11.9 (日) 14:00

《上演会場》

いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

《キャスト》

池田幸代★リョウマ／シズク／三田  
遠藤雄史★ショウタ／スズカ／近江  
及川貴樹★アキラ／ココネ／神田  
高橋斐子★ユウ／松岡  
菊池与志和（劇団赤い風）★カズキ／坂下  
菊地淳也（劇団かっぱ）★ソウイチ／師岡  
高崎美絵★サクラ／安倍  
三橋弥生★川島  
高野ひとみ（劇団・風紀委員会）★サリナ

《スタッフ》

【舞台監督】及川貴樹  
【舞台美術】池田幸代  
【舞台装置】及川貴樹 池田幸代  
【小道具】池田幸代  
【照明】阿部菜摘 高橋斐子・郷右近嘉一（劇団かっぱ）  
【音響】遠藤雄史・佐々悠・藤村朋世  
【衣装・メイク】高崎美絵 上野香織  
【宣伝美術】齊藤有香（劇団かっぱ）  
【制作】布田智章 高野ひとみ（劇団・風紀委員会）  
【web担当】佐々悠

本作品の著作権は、作者である遠藤雄史に帰属します。  
上演許可などのお問い合わせは、作者の所属する劇団トラブルカフェシアター  
まで。上演する際は有料無料に関わらず、必ずご連絡ください。

劇団トラブルカフェシアター HP <http://tctmorioka.web.fc2.com/>  
Mail [tct\\_morioka@yahoo.co.jp](mailto:tct_morioka@yahoo.co.jp)